



浅建第 38-1 号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 殿

浅口市長 田主智彦



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について（回答）

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

環境面と経済性を基本的に考えており、地球温暖化防止のための京都議定書の達成に向けて、運輸部門でのCO₂排出量削減のために、大きなウェイトを占める自動車からの排出量削減対策が急務と考えられるため、渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現にむけて整備が急務であることと、高齢化がすすんでいくため、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進を進めていくためにも「豊かな生活環境の創造」を優先していただきたい。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

近い将来に、道路整備により建設された橋梁の高齢化がすすむため、取り壊して架け替えることにより交通渋滞を引き起こすことが考えられるため、計画的な管理により長寿命化をはかりことにより効率化を図る政策も必要と考えられる。

3 道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

都会では、これ以上の道路の整備は必要がないとの意見があるが、地方部ではまだ整備が行き届いていないと思う。

高齢化がすすんでいくため、歩道の整備を進めていく上で、それぞれの地域によって違ってくると思うが、並木のある道の整備ができないか。わが市では、駅南の道路整備の中において、森の中にあるような駅をイメージできるように、歩道部に植樹をするように指示をしている。緑の街づくりが必要であると考えため、道路整備を進めていく上で取り入れてほしい。

2号バイパスの整備においては、現在事業計画化されている、延長として、東からの施行をお願いしたい。